

令和3年度事業報告

新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国の経済活動の停滞を通じて雇用・就業に多大な影響を及ぼすことが懸念されています。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大が続き第6波では今まで経験のない感染者数となりました。当センターにおいても3名会員の感染者が発生しましたが、会員の症状は軽く、又、就業先への影響は他の会員のカバーによりありませんでした。しかしながら事業全体を見れば経済状況等の影響を受け事業の回復はされず昨年度を下回る事業実績となりました。

新会員の入会状況については、昨年高年齢者雇用安定法の改正を受け高齢者の就業を促進するための制度の見直しが行われました。入会時年齢の高年齢化や就業機会の確保等取りまく環境は厳しい状況が続きますが会員等の努力により会員数は増加しました。

令和3年度末の会員の状況は、年間22回の入会説明会や会員による新入会員の紹介制度などを行い会員の確保に努めました。年度中の入会者数65名、退会者数59名で6名増の430名です。また、会員への就業相談は随時行っています。

事業実績として請負・委任事業におきましては、受注件数では1,831件で前年に比べ1.0%の減少、就業件数では2,725件で1.5%の減少となりました。

一方、契約金額については152,857千円で前年に比べ1.8%の減少となりました。受注別では、公共事業で件数は106件で1.8%の減少、契約金額は52,482千円で6.5%の減少、民間事業で件数は1,725件で0.9%減少、契約金額は、100,375千円で0.8%の増加といった状況でした。

請負・委任といった形態で実施できない作業について労働者派遣事業として受注し、仕事の提供をしています。受注件数は31件で、契約金額は前年比5.7%増の21,768千円でした。

また、有料職業紹介事業として企業等からの求人情報と市内在住の高齢者及び会員の求職情報をマッチングさせる職業紹介事業を行っていますが、実績はありませんでした。

指定管理事業として、知立市いきがいセンターの施設管理を受託しており、男の料理講座や太極拳等12の「高齢者いきがいシニア講座」やリフレッシュ体操、絵てがみやパソコン講座等19の「シルバー人材センター自主講座」を企画しました。しかしコロナの影響で開催を一部中止するものもありましたが、定員を減少させる等基本的な感染防止対策を講じて開催しました。

知立市と結んだ「空家等の適正な管理の推進に関する協定」に基づいた空家の除草、樹木剪定やニーズの高い「介護予防・日常生活支援総合事業(いちご事業)」を推進しました。

子ども用品リサイクル「TOMOちゃん」、「花づくり」などの独自事業も引き続き実施し、会員の就業機会の確保に努めています。

長年資源リサイクルの一翼を担ってきました「食用廃油回収及び肥料作り事業」は市の食用廃油リサイクル方法の変更により廃止となりました。

また、地域の人々にシルバー人材センターを知っていただく機会として、いきがい花づくりやコロナ感染対策をして除草・清掃・ボランティア活動を行いました。一方、会員の親睦活動やボランティア活動の中心的組織であった会員互助会がなくなりました。

総務委員会では、シルバー人材センターの事業運営の基本である中期計画『道しるべ 2017』の推進状況を検証し、第4期中期計画『道しるべ 2022』を策定しました。

編集委員会を広報委員会に名称変更し女性委員を増強し、会員拡大・広報活動を充実しました。市民へのPRのため、ホームページの充実をはかるとともに、各種事業PRのため「シルバーだより」を発行し、市内全戸に配布しました。また、「会員だより」を年4回発行し、会員意識の向上及び情報の共有を図りました。さらに、調査研究事業として、会員アンケートを行い、発注者に対しては聞き取り調査を行っています。

就業に伴う事故件数を「0」にするため、安全委員による就業現場巡回や安全講習会を開催し、会員の安全意識向上を図ってまいりました。しかし、事故件数は、8件で、内訳は傷害事故2件、賠償事故6件でした。

今後も、シルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」を基盤に、働くことを通じて生きがいと地域社会へ貢献することにより、これからも信頼されるよう精進してまいります。以下、令和3年度事業実績について報告します。